



## 35期生が沖縄へ修学旅行に行ってきました！

5月15日～17日の2泊3日で、3年生は沖縄へ修学旅行に行ってきました。予定通り修学旅行に出発できたのは、実に3年ぶりです。十八中の修学旅行で沖縄に行くのは初めてのことです。

奇しくも出発日の5月15日は、沖縄の本土復帰50周年の節目の日でした。ニュースや新聞などで見聞きするだけではなく、実際に行ってみて感じるところは多くあったと思います。

### 平和学習

15日は平和学習として、ひめゆり平和祈念資料館、ガマ（沖縄戦で追いつめられた人たちが逃げ込み、身を潜めていた自然洞窟）、平和祈念公園（平和の礎（いしじ））をめぐる予定です。真剣に資料館の資料を見つめる姿や、ガマのガイドの方のお話に聞き入る姿が見られました。平和の礎（いしじ）の前では平和セレモニーを行い、平和な未来を築く決意を表しました。

平和宣言文に込めた思いや願いを、日常の生活の中で生かすことが平和の第一歩になりますね。これからの3年生のみなさんの姿やリーダーシップに期待をしていますよ。

### 人の温かさに包まれた民泊体験

2日目、3日目は雨続きでした。本当は真っ青な空や海の下でマリンスポーツをしたかったのですが…。それでも水遊びに興じ、ドラゴンボートに歓声を上げる3年生の元気さには感心しました。もちろん、ふるえている人もたくさんいましたが…。少し暖かい透き通った水や、サンゴのかけらが散らばる砂浜は沖縄らしさを感じさせてくれました。

3年生の人に、「修学旅行で何が楽しかった？」と訊くと、多くの人たちが「民泊体験！」と答えてくれました。全部で23のグループに分かれ、伊江島の民家に泊めていただいたのですが、民家の方が、まるで自分たちの子どもを迎えるように、優しく温かく包み込んでくださったのが、本当に心地よかったです。3日目に船でお別れするときも、「さようなら」ではなく、「行ってらっしゃい」と手を振り続ける民家の方の姿が印象的でした。3年生の人たちも別れを惜しんで一生懸命手を振り、中には涙ぐむ人もいたほどでした。

この民家の方の優しさ、温かさ、心づかさも沖縄の“生きた平和体験”なのだと感じました。私も民家の人たちの温かさに学びたいです。

35期生が修学旅行で体験したことや学んだことを、「沖縄慰霊の日」である6月23日に1、2年生の人たちに報告してくれる予定です。



平和の礎の前で平和セレモニー



透明な海でマリンスポーツ体験



民家の方との別れ ハート！

## AETのクリスティーナ スミス先生が来られました！

ゴールデンウィーク明けから、英語の授業にAETの先生が来られました。ケニアのナイロビ出身のクリスティーナ スミス先生です。（AETとは Assistant English Teacher アシスタント イングリッシュ ティーチャーの略）授業中や休み時間にティナ先生との会話を楽しんでほしいと思います。



Hello Everyone,  
My name is Christine Smith and I am your new AET. I am from Nairobi, the capital city of Kenya. I am very happy to be here and I hope we will enjoy studying English together. So let's enjoy English class and play games.

Good luck to everyone.  
Best regards  
Christine Smith

ティナ先生からのメッセージです。  
日本語訳にチャレンジ  
してみよう！



## 保護者のみなさまへ…加藤山崎教育基金のご案内

公益財団法人加藤山崎教育基金から、奨学金事業の募集案内がきましたので、お知らせします。

○加藤山崎奨学金・・・文化、芸術、科学分野のいずれかで頑張る生徒を応援する奨学金

応募資格 : 小学5年生・中学2年生・高校2年生  
前年度の評定平均4.3以上 などの基準あり  
奨学金の金額 : 中学2年生の場合、3万円(1回限り)

○加藤山崎修学支援金・・・学習に意欲的な生徒の教育関係費を支援する修学支援金

応募資格 : 小学4・5・6年生・中学生・高校生  
前年度の評定平均2.7以上 などの基準あり  
修学支援金の金額 : 年額5～7万円(最大3年間)

### ※詳細についての問い合わせ先

公益財団法人加藤山崎教育基金 TEL 03-3417-2231  
FAX 03-3417-2236  
E-mail [info@kyef.or.jp](mailto:info@kyef.or.jp)

※ 6月24日17:00が締切になっています。  
申請される場合は、お早めに教頭または担任へご連絡ください。